

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：歯科衛生学科 名前：坂本 由紀子 作成日：2024年11月26日

### 1. 教育の責任

「専門知識と高度な技術を習得し、歯・口腔の健康を通し社会に貢献できる人材養成が可能な教育課程の編成」という本学科のキャリアム・ポリシーを踏まえて、歯科衛生士として職業倫理観を持ち、あらゆる歯科・口腔保健のニーズに対応できる能力を育成する。

### 2. 教育の理念

「実社会に即した豊かな教養に基づく実務教育を通じて、学生一人ひとりが自らの目的を見つけ、その目的に向けての目標を定めそれを実現させる力を育成する」という本学の理念に基づき、医療職種である歯科衛生士として広く社会貢献ができる人材を輩出することを目的とする。

### 3. 教育の方法

本学の「豊かな教養に基づく実務教育を通じて社会が求める有為な人材を育成する」というディプロマ・ポリシーと関連して、本学科では学内で学んだ基礎的知識、技術をもとに、臨床臨地実習を通して医療現場に強い歯科衛生士を育成することを目指す。

現在担当している科目は、「歯科予防処置論」、「歯科予防処置Ⅰ」、「歯科予防処置Ⅱ」、「歯科予防処置Ⅲ」、「臨床臨地実習Ⅰ」、「臨床臨地実習Ⅱ」、「地域歯科保健実習Ⅰ」、「地域歯科保健実習Ⅱ」である。

歯科予防処置では、口腔の2大疾患であるう蝕と歯周病の予防方法を学ぶ。学生が、歯石除去、機械的歯面清掃など歯科衛生士として必要な専門的な技術を確実に身に付けることができるよう、マネキン訓練で十分に基礎を固めたうえで、相互実習では安全に配慮しながら、実際に口腔を使い、実技の向上を目指す。

### 4. 教育の成果

#### ・授業実践の工夫

スケーラーを用いた歯石除去などは細かい操作となるため、実習中には学生一人ひとりのモニターに教員によるデモンストレーションを配信している。手元を大きく映し出すことで自分の操作を確認しながら実習に取り組むことができるので大変重要な教材であると考え。

実習で使用したデモンストレーション動画は、振り返りが行えるよう el-Campus で配信した。

技術を身につけるだけでなく口腔を診る目を養い、患者配慮を行えるよう、相互実習の回数を十分に確保した。

#### ・学習成果達成のための工夫

歯科予防処置における技術が習得できているか確認するために、実技試験を実施した。

また、小テストを実施することで知識の整理も行った。

#### ・授業アンケートによる評価

授業アンケートの自由記述意見では、授業資料が分かりやすい、細やかに実技指導をしてほしいという意見があった。引き続き、学生が知識を整理しやすい資料作り、学生個人の成長に応じた実技指導を行ってきたい。

### 5. 改善への努力と今後の目標

歯科衛生士3大業務の1つである歯科予防処置では、必要な技術を習得するだけでなく、口腔内状況のみならず生活環境など個人の背景を考慮し、歯科衛生介入の計画立案を行い患者に寄り添うことができる歯科衛生士を養成できるよう努めたい。

### 【添付資料】

なし